

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容を P R!!!

- サービス向上への3ステップ -
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム えくぼ

(ユニット名) ふじ

記入者(管理者)

氏 名 兵頭崇将

評価完了日 平成 19 年 5 月 1 日

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			やや抽象的ではあるが、皆が理解し易く、えくぼ独自の理念を作れている。		
			(外部評価)		
			ホーム独自の理念を作り、利用者主体のケアに取り組んでおられる。		事業所では、今後さらに地域とのつながりも大切に取り組んでいきたいと考えられている。この機会に、事業所が地域の中の公的なサービスの事業所として、何を目指していくかということを話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			各ユニット、玄関口に貼り出しており理念の共有、実践に向けての取り組みが行えている。		
			(外部評価)		
			理念は、事業所内に分かりやすく掲示されていた。職員の集まるカンファレンスやミーティング時に、理念について話し合い、日々の実践につなげておられる。カンファレンスでは、どうしたら利用者がのびのびした生活が出来るか、ということを判断基準に話し合いをされている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			目に付くところに理念を貼り出しているが、家族、地域に十分に理解浸透しているかは微妙である。		運営推進会議等を通して十分に理解浸透していただけるような取り組みを行いたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ホームの周りが程よく散歩コースになっており、近隣の方々の往来がある為に、こちらから積極的に挨拶等を行うように心掛けている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 立地の条件もあり、積極的に行えてない。		自治会、老人会、行事、地域活動の今後は参加していきたい。
			(外部評価) ボランティアや中学校の体験学習の受け入れ、町内の神社の行事への参加等を通じて地域の人達と交流されている。近隣の住民から事業所へ意見が出た際、事業所の対応等から関係性が深まったという事例もある。		事業所では、現在、町内会への加入をすすめたいと考えておられ、話し合いを行っている。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 現状では行えていない。		今後検討し取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義の理解は行えているが、評価自体を活かせきれず、具体的な改善に取り組めていない。		評価自体を活かせるような具体的な改善に取り組めるように、運営者、管理者、職員の意識改革を進めていきたい。
			(外部評価) 前回の外部評価結果を受けて、改善に向けて取り組みが始まっている。管理者は、今回の自己評価作成を通して、事業所の課題（介護計画・リスク管理・災害対策）を明確にされた。		サービス評価の機会を貴事業所のサービスの質について振り返る機会と捉え、すべての職員で取り組んでいかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			現時点ではまだ2回しか行えていないため、評価が難しい。		運営推進会議では貴重な意見を頂ける場だと認識しており、十分にサービス向上に活かせるチャンスがあると考えており、今後の会議開催を充実したものにしていきたい。
			(外部評価)		
			事業所の意義や役割を地域の方々に知っていただけよう、すすめておられる。		出席者の方々に事業所についての理解を深めていただいた上で、サービス向上に繋がる話し合いや意見の交換などを行ってゆく予定となっている。また、災害時にホームの敷地を地域の避難所として活用していただけるよう提案予定である。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			運営推進会議以外では現在行えていない。		今後検討し取り組んで行きたい。
			(外部評価)		
			地域包括支援センターと協力して、グループホーム入居希望者の相談を受け、アドバイスをされている。		今後、事業所では市や包括支援センターと協力し合い、地域の方々に認知症の理解を深めていただけるための、ミニ教室等を実施して行くことも考えておられた。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			制度の理解は研修等を通して理解できているが、十分な活用は行えていない。		制度自体が複雑。また、現在特に必要な方がいない。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			勉強会等に参加し、虐待の見過ごし、防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者 や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説 明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)		
			十分な説明を行い、理解・納得してもらったうえで契 約・解約を行っている。		
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職 員ならびに外部者へ表せる機会を設け、そ れらを運営に反映させている	(自己評価)		
			意見・不満・苦情を外部者へ表せる機会を設けている。 (苦情・意見箱の設置 第三者機関への連絡方の表 記)		
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状 態、金銭管理、職員の異動等について、家 族等に定期的及び個々にあわせた報告をし ている	(自己評価)		
			個別に運営者、管理者、担当職員が行えている。		
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時、法人代表者、管理者がご本人の暮ら しぶりについて報告しておられる。遠くにお住まいの ご家族には、手紙や電話で様子を伝えておられる。		
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職 員ならびに外部者へ表せる機会を設け、そ れらを運営に反映させている	(自己評価)		
			意見・不満・苦情を外部者へ表せる機会を設けている。 (苦情・意見箱の設置 第三者機関への連絡方の表 記)		現在は行えていないが、今後は家族会の開催も検討 中。
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時にお聞きしたり、ホーム主催のお祭 り、いもたき等にご家族を招待して、お話しをするよ うな機会を作られている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 特別な機会には設けていないが、個別に対応し、月々のユニット毎の会議で繁栄できるような話し合いの場を設けている。		もっと積極的な意見の交換の場になるような機会に今後していきた。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ユニット毎、職員の人数状況、季節によって勤務出勤時間や勤務時間帯の調整を行えている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の確保が難しく、現在は離職に伴う利用者へのダメージは否めない状況。 (外部評価) 利用者の状態に応じて職員の勤務体制を工夫されたり、ユニット間での異動等も極力少なくできるよう努めておられる。		異動や離職に伴う利用者へのダメージを防ぐ配慮を更に強化するように、検討中。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内外の研修を段階に応じて機会を与えている。 (外部評価) 月一回の内部研修を行っておられ、職員がさらに認知症についての理解を深められるよう取り組まれている。外部研修についても事業所では、参加できるよう積極的に促しておられる。		定期的な研修参加を勧めながら、働きながらトレーニングできるような計画を立てたい。 事業所では、今後、消防署の協力を得て、心肺蘇生法の研修も考えられていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			相互評価事業に参加を毎年行ってる。 職員個々のネットワークを利用した情報交換を行えている。		今後もネットワーク作りを積極的に行い、お互いのサービス向上に努めたい。
			(外部評価)		
			県GH協議会の相互評価事業への参加を通して、ネットワーク作り、ケアについての情報交換を行ったり、時には、記録類等について情報提供をされている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			休日の確保、無理のない勤務体制作りに努力してる。		更に働き易く、誇りの持てる職場環境づくりに努力したい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			向上心を持って働けるように努力している。		更に働き易く、誇りの持てる職場環境づくりに努力したい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居初期の不安や求めていることを自然な形で聞き取りを行えている。		聞き取り行えていると思うが、更に本音を聞きだせるように努力したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居初期の不安や求めていることを自然な形で聞き取りを行っている。		聞き取り行えていると思うが、更に本音を聞きだせるように努力したい。
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居に際して、施設の見学、本人の同意、家族の意向の調査を行って、当然他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族さんの意向により、いきなりサービス開始するケースが多く、十分な工夫が行えていない。 (外部評価) 入院先から入居されるというようなケースが多い。入院先に管理者が出向き、ゆっくりお話をされたり、ご家族等にも事業所を見学していただくようにされている。また、ご本人にも可能な限り事業所を見学してもらっている。また、入居当日、ご本人の気持ちが落ち着かれるまで法人代表者がそばで寄り添っておられる。		少しでも安心して入居し、健やかな暮らしが送れるような工夫を今後は行っていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 介護する立場の職員も入居者本人から多くの事を学んでいる様子が伺え、支えあう関係を築けている。 (外部評価) 職員は、ホームの畑の作物を鳥から守る方法や、珍しい野菜の名前、料理方法を利用者から教わる等されている。		今後もこういう関係を維持しつつ更により関係作りに心掛ける。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族をいろんな事に巻き込む事によって、一緒に本人を支えていく関係を築いている。		今後もうこういう関係を維持しつつ更により関係作りに心掛ける。
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族のより良い関係作りの架け橋になれるように努力している。		今後更により架け橋になれるように努力する。
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人と馴染みの人、場所の関係維持の架け橋になれるように努力している。		今後更により架け橋になれるように努力する。
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士のより良い関係の構築、孤立しないような支援を心掛けている。		普段見落としがちな事を見落とさないように、お互いが心地良い場所になるような関係の支援を更に心掛ける。
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 今までの退去、転居のケースによってはこちら側からアプローチする事は困難		関係を断ち切らないような付き合いができるように関係を構築していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の生活を通してマーケティング（主に聞き取り調査）を行い検討している。		今後更に本人の思いや意向を十分に把握できるように努めたい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者個々の希望等について日々の暮らしの中で探り、ホーム独自のアセスメントシートを活用して把握に努められている。食事を残された方には、その機会に嗜好をお聞きする等されていた。		さらに、利用者一人ひとりのアセスメントの充実から、ケアの質向上に向けて取り組まれていくことが期待される。さらに、ご家族等からの情報を得られるような取り組み等もすすめていかれてはどうか。
34		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人、家族の聞き取り調査を元に行っている。		聞き取り内容を職員全員が十分に把握するように徹底して行きたい。
35		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			日々の記録物等を元に行っている。		記録物や本人観察法を更に充実させより正確綿密に把握できるように努める。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			基本的に関わる担当介護者と計画作成担当者が作成している。		担当介護者と計画作成担当者、本人と家族が十分に検討し介護計画を作成し介護計画の質向上を目指したい。
			(外部評価)		
			アセスメントに基づいた介護計画を職員が作成しておられる。介護計画書に利用者・ご家族に説明がなされているがサインがないようなものもあった。		さらに、利用者ご本人やご家族の意見を十分に反映した介護計画書の作成が望まれる。今後、事業所では、計画書をご家族に確認していただき、さらに意見をもらって計画書の質を高めていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			十分に行えていない。		担当介護者と計画作成担当者、本人と家族が十分に検討し介護計画を作成し介護計画の質向上を目指したい。
			(外部評価)		
		介護計画は、3ヶ月ごとの見直しとなっている。ユニットごと計画書を一覧にまとめ、それに沿った記録を作成し、毎月のカンファレンスで話し合い見直すようにされている。		今後も、さらに現状に即した細やかな個別の支援を行うための取り組みが期待される。	
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別の記録に記入はできているが、見直しに十分な形で活かしてはいない。		個別の記録が十分に活かせるように、担当介護者と計画作成担当者、本人と家族が十分に検討し介護計画を作成し介護計画の質向上を目指したい。
			(外部評価)		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			その時々に応じた柔軟な支援を心掛けてはいるが、十分に多機能性を活かしているかは、まだまだ活かせる余地はあると思う。		どのように活かせる余地があるか検討し、今後の取り組みに活かしたい。
			(外部評価)		
		病院・買い物への同行、お墓参り等、利用者の希望や状況に応じたサービスの提供に努められている。			

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員 やボランティア、警察、消防、文化・教育 機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 今までのケースではこのようなケースはないので判断 しかねる。		今後このようなケースがあるようなら、各関係機関と 連携し支援していきたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他 のケアマネジャーやサービス事業者と話し 合い、他のサービスを利用するための支援 をしている	(自己評価) 今までのケースではこのようなケースはないので判断 しかねる。		今後このようなケースがあるようなら、各関係機関と 連携し支援していきたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護 や総合的かつ長期的なケアマネジメント等 について、地域包括支援センターと協働し ている	(自己評価) 今までのケースではこのようなケースはないので判断 しかねる。		今後このようなケースがあるようなら、各関係機関と 連携し支援していきたい。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を 築きながら、適切な医療を受けられるよう に支援している	(自己評価) 基本的に本人、家族の希望する医療機関への受診を 行っている。また、必要な入居者には当ホームのかか りつけ医による居宅療養管理指導を受けれるような支 援を行っている。 (外部評価) できる限り利用者、ご家族の希望を大切にできるよう 支援されており、遠くの病院にかかっておられる利用 者には、職員が受診時に同行をされている。その後、 利用者の状態等を踏まえ、事業所に近い病院に移るよ うな支援もなされている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築 きながら、職員が相談したり、利用者が認 知症に関する診断や治療を受けられるよう 支援している	(自己評価) 特別に認知症の専門医との関わりがあるような関係作 りは行えていないが、当ホームのかかりつけ医がカ ヴァーしてくれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職は常駐しておらず、日々の健康管理はかかりつけ医院にお願いして、支援している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院関係者と十分に情報交換を行い、早期退院に向けた協働が行えている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 十分に行えている。 (外部評価) ご本人の状態に応じて、ご家族、医師を含め話し合っておられる。事業所で可能な限り生活できるよう支援をされ、医療が必要な場合には、医療機関と連携を図りながらご本人を支えおられる。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ホームの現状を把握したうえでできること、できないことの見極めを行っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 当ホーム、医療機関、転居先との情報交換を十分に行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			個々を尊重し言葉遣い等にも配慮できていると感じる。記録等の管理も個人情報の保護に努めている。		
			(外部評価)		
			職員、管理者は「自分がされていやな事はしない」ことを心がけ、利用者の性格等にも配慮して対応をされている。特に排泄支援時には、ご本人の羞恥心にも配慮して対応されている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			自己決定を促すようにコミュニケーションを図りつつ支援できている。		
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			個々のペースを大切に希望にそった支援を心掛けてはいるが、場面によっては職員側を優先してしまっているところも見受けられる。		職員側の決まりごと等も大切ではあるが個々のペースを優先できるような支援を行いたい。
			(外部評価)		
			起床時間や食事のペースや量など、ご本人に聞きながら利用者のペースや希望を重視した生活となるよう、支援しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の望む店(理容・美容店)へ連れて行く事は本人の希望がない為に行えていないが、身だしなみやおしゃれ(マニキュアや整髪、化粧)は主に女性職員が適宜支援できている。		本人の望む店舗を聞き取りしなるべく支援できるようにしたい。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 本人の無理にならないようにお願いし、状況に応じて行えている場面も伺える。 (外部評価) 食事の準備、配膳、下膳など利用者の力を発揮できるよう支援されている。食事中、職員は、会話が弾むように話題提供をされたり、目の不自由な方への食事介助は、自分で食べていると思えるようさりげなく支援されていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 状況に合わせて提供できているが日常的には楽しめていないところもある。		嗜好調査を十分に行い日常的に楽しめる支援を行えるようにしたい。
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 状況に合わせて支援し、少しでも気持ちよく排泄できるように心掛けている。		更に一人ひとりの力や排泄パターン、週刊を活かして気持ちよく排泄できる支援を目指す。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 昼間入浴者・夜間入浴者の希望調査を行い、概ねそれに沿って入浴の支援を行っている。 (外部評価) 入浴の時間の長さを一律に決めずに、一人ひとりの希望に合わせて支援されている。利用者が入浴を嫌がるような場合には、足浴等もすすめておられる。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりが安心して気持ちよく休息し、安眠できるような支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 集団生活における日常生活を営む上での役割分担を本人の無理なく行えるような支援を心掛けている。 (外部評価) お料理やお花等、これまでの経験等を活かした役割で、利用者がいきいきと過ごしておられる様子がうかがえた。掃除は協力してくれる利用者が多数おられるため、担当場所を決めておられた。		今後、役割のことでトラブルが発生しないよう、さらに利用者それぞれにやりがいのある役割を探っていくような取り組みも考えられていた。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理はほとんどホーム主体で行っているが、外出行事等の時には本人にお金を渡し会計できるような支援を行っている。		個々の金銭管理能力に合わせた管理方法を今後、検討していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			一人ひとりのその日の希望を十分に叶える事は、職員の配置状況から困難な点があるが、定期的な外出（買物や散歩）は支援できている。		職員を今後、増員し、個々の希望にそった戸外への外出が十分に行えるような支援を行いたい。
			(外部評価)		
			買い物や散歩等に出かけられている。近所のドラッグストアへおやつ等を買に行く方もいる。以前は、利用者全員での外出が多かったが、現在は、少グループで出かけることが多い。「アイスクリームを食べに行く日」等もある。		
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			個別の外出の機会は本人、家族の希望によって行い、適切な支援が行えている。		
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			手紙を書くことや電話を使える方には希望があれば使用できるように支援できているが、そういう方がほとんどいない。		
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			常識の範囲内の時間帯であれば出入り自由にできるようにホームを開放している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) 介護度が高く夜間帯には止む無くしてしまう拘束に は、家族に十分の説明を行い理解を得て行うようにし ている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中はホーム全体を開放しており鍵をかけないケアを 実践している。 (外部評価) 日中は玄関に鍵をかけておらず、チャイムや照明等で 外出を察知できるようになっている。中庭への出入り も自由で、開放的な雰囲気であった。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) プライバシーに配慮し、利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮するように努めている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて危険を防ぐ取り組みが行え ている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 苦情・事故の事例をケースごとに研究し事故防止に取り 組めている。		今後の更なる事故防止の為に“ヒヤリハット”を充実 させたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 全ての職員に応急手当や初期対応の訓練が定期的に行えていない。		応急手当や初期対応の訓練全ての職員に定期的に行えるように研修等の参加を積極的に促したい。
71	27	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 現状は十分に行えていない。 (外部評価) 消防署の協力を得て、職員全員が参加し、避難訓練をされた。		運営推進委員会を通じて地域の方々の協力を得られるようにしたい。 今後、夜間時等職員数の少ないような時の訓練についても必要と考えられていた。さらに、利用者ご家族等の安心安全に向けての取り組みが期待される。
72		○ リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時にリスクの説明は行い、同意を得るようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○ 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 利用者の情報の共有に努め何事にも早期発見早期対応を心掛けている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬チェック表、薬仕訳票、服薬見本を使用し確認をきちんとできるようにしている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘の原因、影響を理解解釈し食物の工夫に取り組めている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 現状、できていない方も数名おいでる。		利用者全員が十分な口腔ケアの支援が受けられるように配慮した取り組みを行いたい。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 十分な支援が行えている。 (外部評価) 利用者個々の食事摂取量が記録されている。嗜好調査等も活かしながら献立を考えられている。発熱等、必要時には、水分摂取量を把握するようになっている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 予防、対応を実行できている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 安全な食材の使用管理ができています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 親しみやすく、安心しての出入りができるように工夫ができています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 生活感や季節感を取り入れた共有空間ができています。 (外部評価) 共用空間には、糸まき機や土瓶などアンティークな装飾品や五月人形、季節の生け花等があり、利用者の年代が馴染みのあるようなしつらえ等に配慮されていた。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 随所に椅子やソファを配置し思い思いに過ごせるような工夫ができています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ご せるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人、家族と相談し居心地の良い空間作りに努めている。 (外部評価)		
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう 換気に努め、温度調節は、外気温と大きな 差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価) 状況に応じてこまめに行えている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)		
			安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫できている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)		
			自立して暮らせるように工夫できている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			園芸や金魚の飼育ができるように行かせている。		

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	担当の利用者については担当職員がほぼ把握し意向を掴んだ関わりができています。
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己評価) 1 毎日ある ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日々の業務に追われることが多く、なかなかゆったりと過ごす場面をゆっくり過ごすことができていない。
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々の能力や希望に応じた暮らしのペースで過ごせている。
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	支援することによって生き生きとされる方、そうでない方の差が大きく、十分な個別の対応ができていない場面もある。
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々の能力に応じて出掛けることの可能な方、そうでない方がいるため。
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ほぼ全ての利用者がかかりつけ医の指示により健康管理、医療面はカバーしてもらっている。またその指示により、職員は安全面を配慮した関わりが持て利用者は不安なく過ごせていると思う。
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	臨機応変に対応し、安心した暮らしが遅れていると思う。
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	遠隔地に住む家族とは希薄になりがちではあるが、定期的に連絡を取り信頼関係の構築に努めている。
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	家族さんの来訪はほぼ毎日あるが、地域の方や、馴染みの方はそう頻回には訪れない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己 評価) 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている ③ 3 あまり増えていない 4 全くいない	まだ2回しか行えていないので、これからの理解者や応援者の増加に期待し取り組んでいきたい。
98	職員は、生き活きと働けている	(自己 評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員間のジェネレーションギャップも感じさせない良い信頼関係が職員同士で築けており、生き活きと働けているように感じる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	まだまだ更なる利用者の理解に努め、更に満足した生活を営めるような関わりを持ちたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	まだまだ更なる利用者の家族の理解に努め、更に満足した生活を営めるような関わりを持ちたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- 利用されている方々が、家庭的で開放感のある生活が営めるように、空間作りや、利用者同士や職員の関わりを大切に生活してもらってます。
- 立地環境が抜群に良く、住宅地でありながら、田畑が広がりゆったりと過ごすことができます。
- 四季の移り変わりを堪能でき環境は申し分ありません。
- ホームの向かいにはとても広い土地を活用し、利用者のご家族さんのお手伝いも頂き、ホームの菜園も作っており、新鮮な野菜を楽しむことができます。
- マスコットとして山羊も飼育しており、今年の初夏頃には出産予定で、利用者、職員共に待ち遠しく思っております。
- 職員も利用者も共に生活を営むというスタンスで日々の生活を楽しく送ってます。